公共施設用照明器具

JIL5004:2024（2025年版）改正について

（一社）日本照明工業会
公共施設用照明器具小委員会

JIL

公共施設用照明器具

2025 年版

JIL 5004 : 2024

一般社団法人 日本照明工業会
Japan Lighting Manufactures Association

目　次

１．2025年版の改正概要

２．改正内容（器種別）

・追加器種について

・主な改正器種について

・廃止器種について

2025年版の改正概要

P 121

1）さらなる省エネ効果が期待できる照明制御器（センサ）やセンサを搭載した照明器具の拡充と，主に事務室や学校で使用されるベースライトに高効率な照明器具を追加

・高効率ベースライトの追加
・グリッドシステム天井器具の光束適正化
・換気扇連動人感センサの追加
・微動検知人感センサ，人感センサの仕様改正
・自動点滅機能付防犯灯の追加
・ソーラーライトの高光束化　　など

2）公共施設における木材の使用推進にあわせ，木造建築に利用しやすい照明器具の拡充

・じか付け器具にグレア分類G1b器具の追加
・電源別置形じか付け非常用照明器具の追加　　など

2025年版の器種構成

●合計428器種　2022年版に対し6器種増加（24器種追加・18器種廃止）

器種区分		2022年版			2025年版			増減	備考
		LED	LED以外	合計	LED	LED以外	合計		
一般屋内用	ベースライト（埋込み形器具）	64	0	64	70	0	70	+6	高効率ベースライト，じか付け器具（グレア分類G1b）追加
	ベースライト（じか付け形器具）	85	0	85	98	0	98	+13	
	ダウンライト	42	0	42	43	0	43	+1	断熱施工ダウンライト（5000K）追加 廊下用ダウンライト廃止
	高天井器具（じか付け形器具）	12	0	12	6	0	6	-6	丸形高天井器具廃止
	センサ	0	9	9	0	10	10	+1	換気扇連動人感センサ追加
	（小計）	203	9	212	217	10	227	+15	
防災用	電池内蔵形非常用照明器具(専用形)	14	0	14	14	0	14	0	
	電源別置形非常用照明器具(専用形)	2	0	2	3	0	3	+1	じか付け形追加
	電池内蔵形非常用照明器具(組込形)	18	0	18	18	0	18	0	
	誘導灯	144	0	144	132	0	132	-12	天井埋込み誘導灯の一部廃止
	階段通路誘導灯	8	0	8	8	0	8	0	
	（小計）	186	0	186	175	0	175	-11	
屋外用	街路灯	5	0	5	5	0	5	0	
	投光器	6	0	6	6	0	6	0	
	防犯灯	1	0	1	2	0	2	+1	自動点滅機能付追加
	ガーデンライト	1	0	1	1	0	1	0	
	屋外用非常灯	2	0	2	2	0	2	0	
	ソーラーライト	1	0	1	2	0	2	+1	高光束化により器種追加
	ポール	0	8	8	0	8	8	0	
	（小計）	16	8	24	18	8	26	+2	
合計		405	17	422	410	18	428	+6	

目　次

１．2025年版の改正概要

２．改正内容（器種別）

・追加器種について

・主な改正器種について

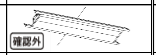
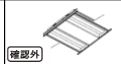
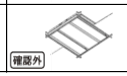
・廃止器種について

別紙　JIL5004:2024（2025年版）新旧対比表

器種毎の改正箇所をまとめた「JIL5004:2024（2025年版）確認対象機種形式新旧対比表」
(HPに掲載：https://www.jlma.or.jp/hyotei/koukyou/pdf/Y99_sankou_jil5004shinkyutaihi241220.pdf)

公共施設用照明器具　JIL5004：2024（2025年版）改正説明会資料　　別紙　附属書Ｂ対比表

○：改正箇所

	仕様	図	2025年版 図No.B.	2025年版 形式	2025年版 器種数	2022年版 図No.B.	2022年版 形式	2022年版 器種数	変更有無	主な改正箇所 光束	消費電力	入力容量	効率	寸法	材質	制御装置の種類	グレア	照明率	その他	備考
ベースライト（埋込み器具）	下面開放		1	LRS3	7	1	LRS3	7	有				○							
				LRS3H	2				追加											高効率形
	薄形下面開放		2	LRS3CC	5	2	LRS3CC	5	有				○							
	グレア抑制形		3	LRS3CG1A	3	3	LRS3CG1A	3	無											
	下面開放		4	LRS3SA20	2	4	LRS3SA20	2	無											
	防湿防雨		5	LRS3MP/RP	2	5	LRS3MP/RP	2	有				○							
	下面開放		6	LRS6	7	6	LRS6	7	無											
	グレア抑制形		7	LRS6CG1A	3	7	LRS6CG1A	3	無											
	下面開放		8	LRS6SA20	4	8	LRS6SA20	4	無											
	システム天井	 確認外	9	LRS7	2	9	LRS7	2	有										○	姿図をＴバー付に変更
	黒板灯		10	LRS8	4	10	LRS8	4	有		○	○	○							
				LRS8H	2				追加											高効率形
	防湿防雨		11	LRS10MP/RP	4	11	LRS10MP/RP	4	無											
	乳白カバー		12	LRS9	2	12	LRS9	2	無											
	下面開放		13	LRS15	10	13	LRS15	10	有				○							
	下面開放		14	LRS20	3	14	LRS20	3	有				○							
				LRS20H	2				追加											高効率形
	グレア抑制形		15	LRS20CG1A	2	15	LRS20CG1A	2	無											
	グリッドシステム天井	 確認外	16	LRS28	2	16	LRS28	2	有	○	○	○	○					○	○	光束変更に伴い器種名変更
	グリッドシステム天井	 確認外	17	LRS29	2	17	LRS29	2	有	○	○	○						○	○	光束変更に伴い器種名変更

説明器種一覧

項番	アイテム	附属書B　No.	形式	追加	改正	廃止
1	高効率ベースライト（8形式）	1,10,14,18, 20,21,22,24	LRS3　他	○		
2	じか付け黒板灯（断面寸法の規格化）	24	LSS13,LSS13H		○	
3	じか付け器具（グレア分類G1b対応）	19	LSS6	○		
4	グリッドシステム天井（光束適正化）	16,17	LRS28,LRS29		○	
5	断熱施工対応ダウンライト（相関色温度5000K）	35	LRS18	○		
6	角形高天井器具（非調光追加）	36	LSR2M,W,AM		○	
7	センサ（人感センサ仕様追加）	37	DS1,DS2（AN,NT）		○	
8	センサ（換気扇連動人感センサ）		DS1（NK）	○		
9	個別照明制御システム（微動検知人感センサ見直し）	37,38	DS1（NC）		○	
10	個別照明制御システム（仕様の明確化）		LED制御装置（NC）		○	
11	電源別置形じか付け非常用照明器具	41	K0-LSS11	○		
12	階段灯（光束・電気特性・寸法の規格化）	44	K1－LBF11　他		○	
13	投光器（非調光追加）	60	LPJ1N,M,W		○	
14	防犯灯（自動点滅機能付）	61	LBF2RPS	○		
15	屋外用非常灯（相関色温度の明確化）	62	LBF4RP		○	
16	ソーラーライト（高光束化）	64	LSA1		○	
17	LED制御装置（調光下限値の見直し）	—	表5.5（LX）		○	
18	廊下用ダウンライトの廃止	—	LRS11R			○
19	丸形高天井器具の廃止	—	LSR1M,W,AM			○
20	天井埋込み誘導灯の一部廃止	—	SH1－FRF20P,21P ST1－FRF22P,23P			○
21	照明器具の受渡試験の削除	—	8項　b）			○

目　次

１．2025年版の改正概要

２．改正内容（器種別）

・追加器種について

・主な改正器種について

・廃止器種について

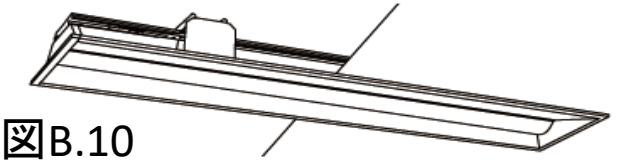
1　高効率ベースライト　（追加）

●目的：ZEBへの取り組みのため，より高効率なLED照明器具を規格化
　　主に事務室及び学校で使用されるLED照明器具を規格化

LRS3H　埋込み下面開放
天井切り込み寸法：220×1235

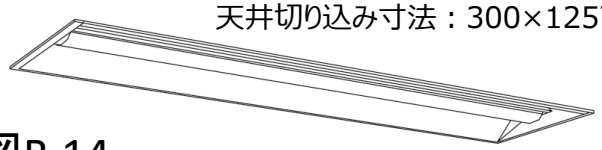
図B.1

LRS8H　埋込み黒板灯



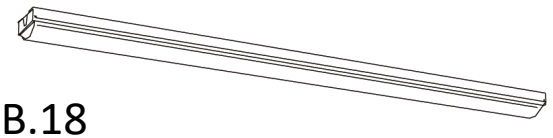
図B.10

LRS20H　埋込み下面開放
天井切り込み寸法：300×1257



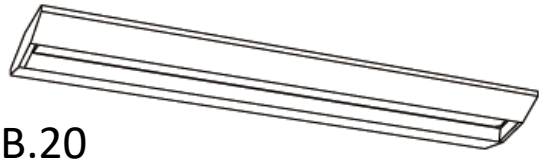
図B.14

LSS1H　笠なし（トラフ）



図B.18

LSS7H　教室用ベースライト



図B.20

LSS9H　V形

図B.21

LSS10H　V形

図B.22

LSS13H　じか付け黒板灯

図B.24

1　高効率ベースライト（埋込み下面開放）　（追加）

図B.1（図B.1）← 2025年版の附属書B番号
（　）は2022年版の附属書B番号

P51

2025年版の頁

●形式：
　LRS3H
●仕様：
　LRS3-4の高効率形

天井切り込み寸法：220×1235

高効率形

器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	制御装置の種類	グレア分類
LRS3H - 4 - 48	4800以上 5300以下	28 以下	32 以下	177 以上	LN LX LC	G1b
LRS3H - 4 - 65	6500以上 7200以下	38 以下	44 以下			

効率：約22%向上

一般形

LRS3 - 4 - 48	4800以上 5300以下	35 以下	41 以下	145 以上	LN LX LC	G1b
LRS3 - 4 - 65	6500以上 7200以下	46 以下	54 以下			

1　高効率ベースライト　（追加）

P 22

形式の表示例に高効率形を追加

形式

表示例 1.1－LED 照明器具（ベースライト）

記号例	L	RS	3	CC	□□	－	4	－	20	－	LN	9
内 容 項 目	光源の種類	器具の種類	器具の形 - 1	器具の形 - 2	付加機能		器具の長さ		光束		制御装置の種類	定格入力電圧
表6のNo.	❶	❷	注a)	注b)	❸ 注c)		注d)		注e)		❹	❺

注a)　器具の形-1は，器種別仕様の番号（1～n）による。

注b)　器具の形-2は，次による。

なし：下面開放形，CC：Cチャンネル回避形，SA20：A断面遮光角20°形

注c)　付加機能は，❸によるほか，次による。

CG1A：グレア抑制形，H：高効率形

注d)　器具の長さは，2：20形，4：40形

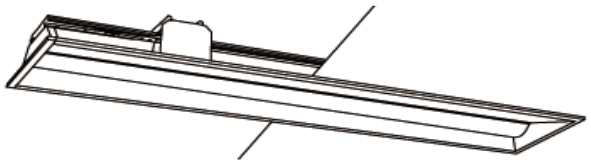
注e)　光束は，07：700 lm，18：1800 lm，20：2000 lmなど

1　高効率ベースライト（埋込み黒板灯）　（追加）

図B.10（図B.10）

P60

●形式：
　LRS8H
●仕様：
　LRS8-4の高効率形



高効率形

器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	制御装置の種類
LRS8H - 4 – 43	4300以上	28 以下	32 以下	159 以上	LN
LRS8H - 4 – 58	5800以上	38 以下	44 以下		

効率：約22%向上

一般形

LRS8 - 4 – 43	4300以上	35 以下	41 以下	130 以上	LN
LRS8 - 4 – 58	5800以上	46 以下	54 以下		

2022年版

消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)
36 以下	42 以下	125 以上
47 以下	55 以下	

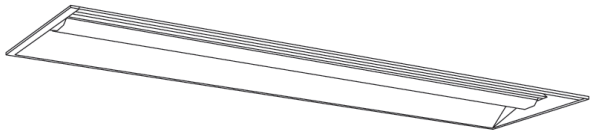
省電力・効率：約4%向上

1　高効率ベースライト（埋込み下面開放）　（追加）

図B.14（図B.14）

P64

●形式：
　LRS20H
●仕様：
　LRS20-4の高効率形



天井切り込み寸法：300×1257

高効率形

器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	制御装置の種類	グレア分類
LRS20H - 4 – 48	4800以上 5300以下	28 以下	32 以下	174 以上	LN LX	G1b
LRS20H - 4 - 65	6500以上 7200以下	38 以下	44 以下			

効率：20%向上

一般形

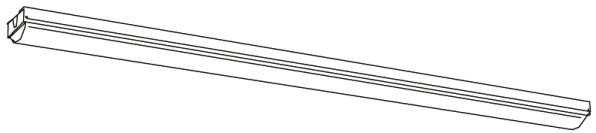
LRS20 - 4 – 48	4800以上 5300以下	35 以下	41 以下	145 以上	LN LX	G1b
LRS20 - 4 – 65	6500以上 7200以下	46 以下	54 以下			

1　高効率ベースライト（笠なし）　（追加）

図B.18（図B.18）

P 68～69

●形式：
　LSS1H
●仕様：
　LSS1-4の高効率形



高効率形

器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	制御装置の種類
LSS1H - 4 – 48	4800以上 5300以下	28 以下	32 以下	183 以上	LN LX
LSS1H - 4 - 65	6500以上 7200以下	38 以下	44 以下		

効率：22％向上

一般形

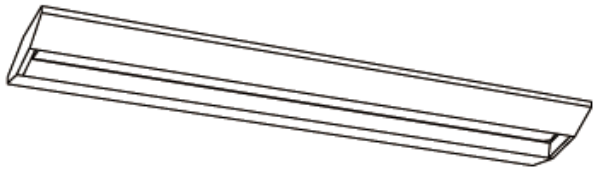
LSS1 - 4 – 48	4800以上 5300以下	35 以下	41 以下	150 以上	LN LX
LSS1 - 4 – 65	6500以上 7200以下	46 以下	54 以下		

1　高効率ベースライト（教室用ベースライト）　（追加）

図B.20（図B.20）

P71

●形式：
　LSS7H
●仕様：
　LSS7-4の高効率形



高効率形

器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	制御装置の種類	グレア分類
LSS7H - 4 – 38	3800以上	28 以下	32 以下	158 以上	LN LX	G1b
LSS7H - 4 - 56	5600以上	38 以下	44 以下			

効率：約22%向上

一般形

LSS7 - 4 – 38	3800以上	35 以下	41 以下	130 以上	LN LX	G1b
LSS7 - 4 – 56	5600以上	46 以下	54 以下			

1　高効率ベースライト（V形）　（追加）

図B.21（図B.21）

P72～73

●形式：
　LSS9H
●仕様：
　LSS9-4の高効率形

本体幅：120～165

高効率形

器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	制御装置の種類
LSS9H - 4 – 48	4800以上 5300以下	28 以下	32 以下	183 以上	LN LX LC
LSS9H - 4 - 65	6500以上 7200以下	38 以下	44 以下		

効率：22%向上

一般形

LSS9 - 4 – 48	4800以上 5300以下	35 以下	41 以下	150 以上	LN LX LC
LSS9 - 4 – 65	6500以上 7200以下	46 以下	54 以下		

1　高効率ベースライト（V形）　（追加）

図B.22（図B.22）

P74～75

●形式：
　LSS10H
●仕様：
　LSS10-4の高効率形

本体幅：200～250

高効率形

器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	制御装置の種類
LSS10H - 4 – 48	4800以上 5300以下	28 以下	32 以下	183 以上	LN LX LC
LSS10H - 4 - 65	6500以上 7200以下	38 以下	44 以下		

効率：22%向上

一般形

LSS10 - 4 – 48	4800以上 5300以下	35 以下	41 以下	150 以上	LN LX LC
LSS10 - 4 – 65	6500以上 7200以下	46 以下	54 以下		

1　高効率ベースライト（じか付け黒板灯）　（追加）

図B.24（図B.24）

P77

●形式：
　LSS13H
●仕様：
　LSS13-4の高効率形

高効率形

器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	制御装置の種類
LSS13H - 4 – 45	4500以上	28 以下	32 以下	165 以上	LN
LSS13H - 4 – 62	6200以上	38 以下	44 以下		

効率：約22%向上

一般形

LSS13 - 4 – 45	4500以上	35 以下	41 以下	135 以上	LN
LSS13 - 4 – 62	6200以上	46 以下	54 以下		

2022年版

消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)
36 以下	42 以下	130 以上
46 以下	54 以下	

省電力・効率：約4%向上

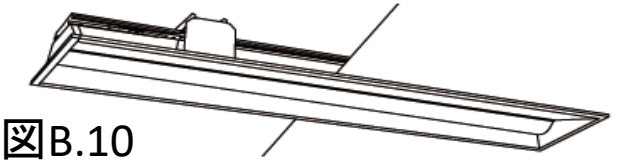
1　高効率ベースライト（まとめ）　（追加）

- 形式：H付
- 固有エネルギー効率：省電力化により一般形に対し、約20～22%向上
- 上記以外は、一般形と同一

LRS3H　埋込み下面開放
天井切り込み寸法：220×1235

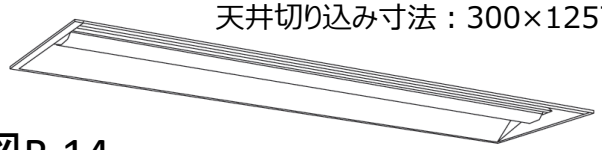
図B.1

LRS8H　埋込み黒板灯



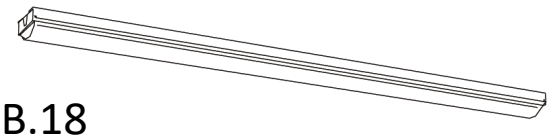
図B.10

LRS20H　埋込み下面開放
天井切り込み寸法：300×1257



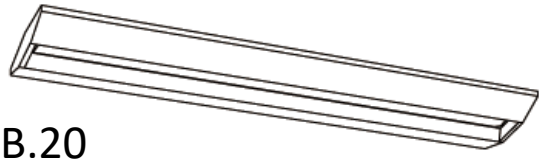
図B.14

LSS1H　笠なし（トラフ）



図B.18

LSS7H　教室用ベースライト



図B.20

LSS9H　V形

図B.21

LSS10H　V形

図B.22

LSS13H　じか付け黒板灯

図B.24

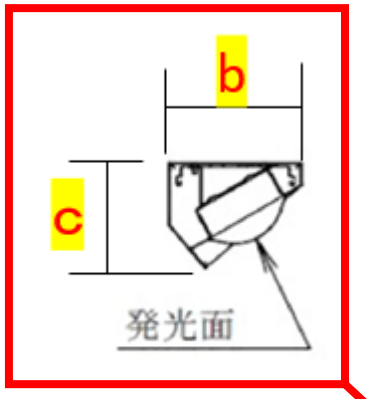
2 じか付け黒板灯（断面寸法の規格化）　（改正）

P77

●目的：照明設計に必要な寸法を規格化

●形式：
LSS13
LSS13H

●仕様：
断面寸法追加



図B.24（図B.24）

器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	定格入力電圧 (V)	寸　法 (mm) a	b	c	材　質 本体	材　質 発光面	背面形式	制御装置の種類
LSS13 - 4 - 21	2100 以上	19 以下	22 以下	130 以上	AC 100 ～ 242	1200 ～ 1300	100 ～ 140	100 ～ 140	SPC ADC A1P	PC PMMA	B21 B23	LN
LSS13 - 4 - 29	2900 以上	23 以下	27 以下	135 以上								
LSS13 - 4 - 45	4500 以上	35 以下	41 以下									
LSS13H - 4 - 45		28 以下	32 以下	165 以上								
LSS13 - 4 - 62	6200 以上	46 以下	54 以下	135 以上								
LSS13H - 4 - 62		38 以下	44 以下	165 以上								

3 じか付け器具（グレア分類G1b対応）　（追加）

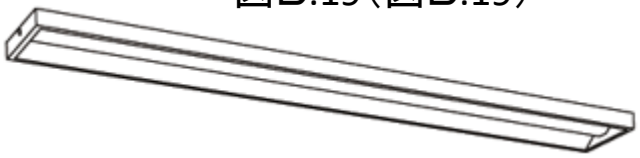
P70

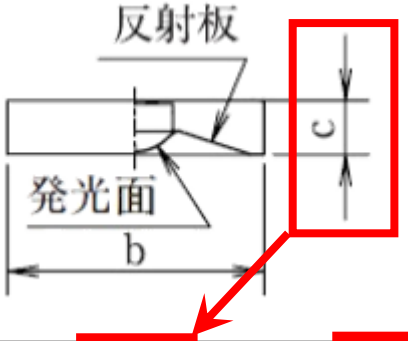
●目的：木材使用の推進に合わせ，木造建築に利用しやすいグレア抑制形照明器具の拡充と，既設施設の改修において事務室の蛍光灯器具の代替品

●形式：
LSS6

●仕様：
グレア分類G1b
発光面はグレア抑制形
c 寸法35～60（グレア分類G2は35～55）

図B.19（図B.19）





器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	寸法 C	制御装置の種類	グレア分類
LSS6 - 4 – 25	2500以上 3000以下	23 以下	27 以下	125 以上	35 ～ 60	LN LX	G1b
LSS6 - 4 – 31	3100以上 3800以下	27 以下	31 以下				
LSS6 - 4 – 41	4100以上 4900以下	35 以下	41 以下			LN LX LC	

（摘要）2．発光面は，グレア抑制形とする。

3 じか付け器具（グレア分類G1b対応）（追加）

同等光束帯でのグレア分類G2との比較

G1b

グレア分類	器 種	光 束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	寸法 C	制御装置の種類
G1b	LSS6 - 4 – 25	2500以上 3000以下	23 以下	27 以下	125 以上	35 ～ 60	LN LX
	LSS6 - 4 – 31	3100以上 3800以下	27 以下	31 以下			
	LSS6 - 4 – 41	4100以上 4900以下	35 以下	41 以下			LN LX LC

G2

グレア分類	器 種	光 束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	寸法 C	制御装置の種類
G2	LSS6 - 4 – 30	3000以上 3300以下	22 以下	25 以下	140 以上	35 ～ 55	LN LX
	LSS6 - 4 – 37	3700以上 4100以下	27 以下	31 以下	145 以上		
	LSS6 - 4 – 48	4800以上 5300以下	35 以下	41 以下			LN LX LC

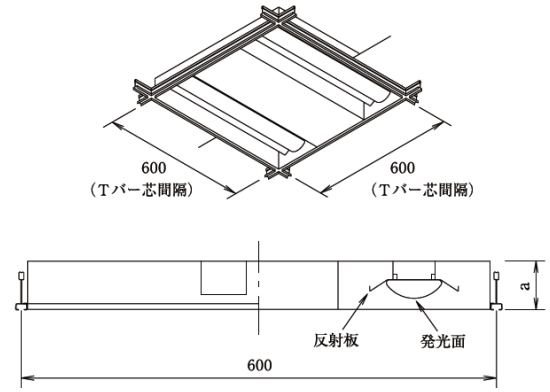
4　グリッドシステム天井（光束適正化）　（改正）

●目的：算出照度が750lx～1000lxを満足しない場合があるため，光束の適正化

P66

図B.16（図B.16）

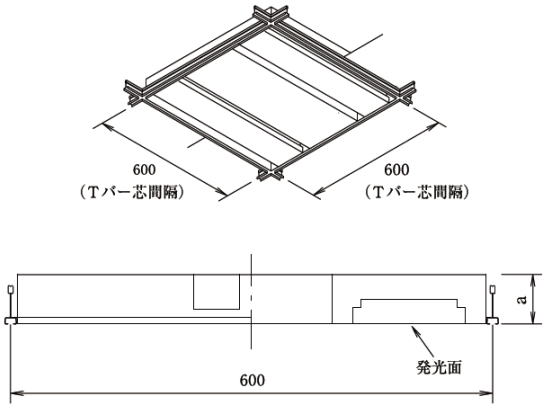
LRS28
確認外



P67

図B.17（図B.17）

LRS29
確認外



4　グリッドシステム天井（光束適正化）　（改正）

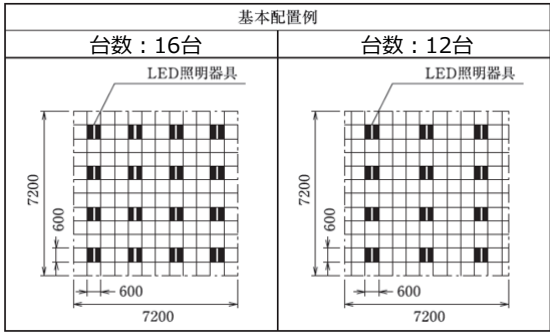
2022年版の光束法での照度計算結果

2022年版

器種	光束	基本配置例	台数	照度	判定
LRS28-6-30	3000lm	左	16	555lx	NG
	4600lm	左	16	851lx	OK
LRS28-6-46	4600lm	右	12	638lx	NG
	7000lm	右	12	971lx	OK
LRS29-6-28	2800lm	左	16	539lx	NG
	4300lm	左	16	828lx	OK
LRS29-6-43	4300lm	右	12	621lx	NG
	6600lm	右	12	910lx	OK

条件

部屋の大きさ	間口：7.2m，奥行き：7.2m，面積：51.8㎡，高さ：2.6m
作業面の高さ	0.8m
室指数	2.00
反射率	天井：70%，壁：50%，床：10%
固有照明率	LRS28：0.74　　LRS29：0.77
保守率	0.81



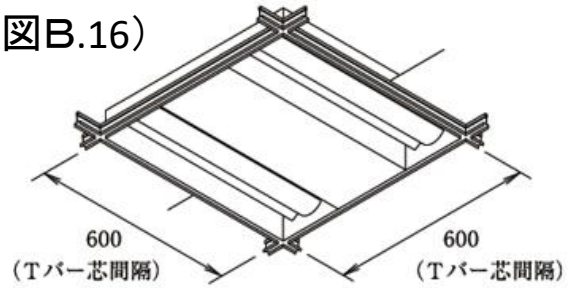
4　グリッドシステム天井（光束適正化）　（改正）

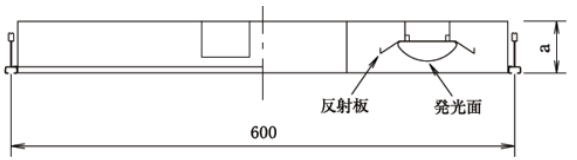
P66

●形式：
　LRS28　確認外

●仕様：
　光束適正化
　光束変更による器種名変更

図B.16（図B.16）





器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	制御装置の種類	グレア分類
LRS28 - 6 – **39**	3900以上 4500未満	33 以下	38 以下	130 以上	LX LC	G1b
LRS28 - 6 – **52**	5200以上 6000未満	44 以下	51 以下			

光束適正化

省電力
効率：4%向上

2022年版

LRS28 - 6 – 30	3000以上 4600未満	33 以下	38 以下	125 以上	LX LC	G1b
LRS28 - 6 – 46	4600以上 7000未満	45 以下	52 以下			

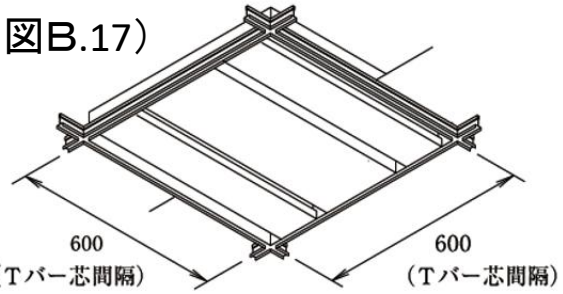
4　グリッドシステム天井（光束適正化）　（改正）

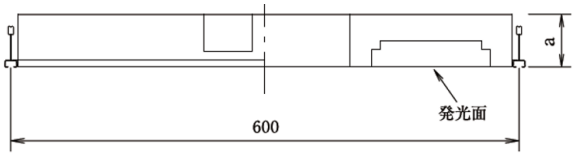
P67

●形式：
　LRS29　確認外

●仕様：
　光束適正化
　光束変更による器種名変更

図B.17（図B.17）





器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	制御装置の種類	グレア分類
LRS29 - 6 – **39**	3900以上 4500未満	33 以下	38 以下	120 以上	LX LC	G1b
LRS29 - 6 – **52**	5200以上 6000未満	47 以下	55 以下			

光束適正化

省電力
効率は同一

2022年版

LRS29 - 6 – 28	2800以上 4300未満	35 以下	41 以下	120 以上	LX LC	G1b
LRS29 - 6 – 43	4300以上 6600未満	47 以下	55 以下			

4 グリッドシステム天井（光束適正化）　（改正）

2022年版

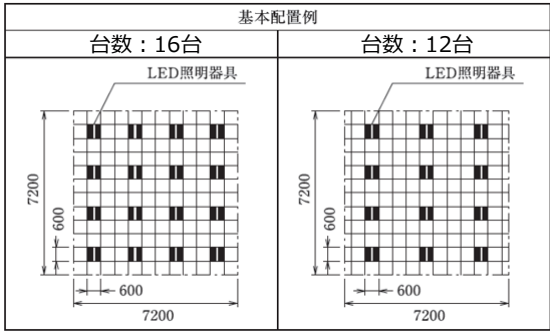
器種	光束
LRS28-6-30	3000lm
	4600lm
LRS28-6-46	4600lm
	7000lm
LRS29-6-28	2800lm
	4300lm
LRS29-6-43	4300lm
	6600lm

2025年版

器種	光束	基本配置例	台数	照度
LRS28-6-39	3900lm	左	16	761lx
	4500lm	左	16	878lx
LRS28-6-52	5200lm	右	12	761lx
	6000lm	右	12	878lx
LRS29-6-39	3900lm	左	16	751lx
	4500lm	左	16	866lx
LRS29-6-52	5200lm	右	12	751lx
	6000lm	右	12	866lx

条件

部屋の大きさ	間口：7.2m，奥行き：7.2m，面積：51.8㎡，高さ：2.6m
作業面の高さ	0.8m
室指数	2.00
反射率	天井：70%，壁：50%，床：10%
固有照明率	LRS28：0.78　　LRS29：0.77
保守率	0.81



4 グリッドシステム天井（光束適正化）

（改正）

P38

固有照明率を現状に合わせて見直し

LRS28

2022年版

最大器具取付間隔			反射率 / 室指数	天井	70			50		30	0
				壁	70	50	30	50	30	30	0
				床	10			10		10	0
			0.6	J	0.49	0.40	0.33	0.39	0.32	0.32	0.27
			0.8	I	0.58	0.48	0.42	0.48	0.41	0.41	0.34
			1.0	H	0.66	0.56	0.49	0.55	0.49	0.48	0.42
Smax(A-A)＝	1.20	H	1.3	G	0.70	0.63	0.56	0.61	0.56	0.55	0.48
Smax(B-B)＝	1.20	H	1.5	F	0.75	0.67	0.62	0.66	0.61	0.60	0.54
			2.0	E	0.81	0.74	0.69	0.72	0.68	0.67	0.62
			2.5	D	0.84	0.79	0.74	0.77	0.73	0.71	0.67
			3.0	C	0.86	0.82	0.78	0.80	0.76	0.75	0.70
			4.0	B	0.88	0.86	0.83	0.84	0.81	0.79	0.75
			5.0	A	0.90	0.87	0.86	0.86	0.84	0.82	0.78

2025年版

最大器具取付間隔			反射率 / 室指数	天井	70			50		30	0
				壁	70	50	30	50	30	30	0
				床	10			10		10	0
			0.6	J	0.53	0.43	0.35	0.42	0.35	0.34	0.29
			0.8	I	0.63	0.52	0.46	0.51	0.45	0.45	0.38
			1.0	H	0.69	0.60	0.53	0.59	0.52	0.52	0.46
Smax(A-A)	1.20	H	1.3	G	0.75	0.67	0.61	0.66	0.60	0.59	0.53
Smax(B-B)	1.20	H	1.5	F	0.79	0.71	0.66	0.69	0.65	0.64	0.58
			2.0	E	0.84	0.78	0.73	0.76	0.72	0.70	0.66
			2.5	D	0.87	0.83	0.78	0.80	0.77	0.75	0.70
			3.0	C	0.89	0.86	0.82	0.84	0.80	0.79	0.73
			4.0	B	0.92	0.89	0.86	0.86	0.85	0.83	0.78
			5.0	A	0.94	0.91	0.88	0.89	0.87	0.86	0.81

LRS29

最大器具取付間隔			反射率 / 室指数	天井	70			50		30	0
				壁	70	50	30	50	30	30	0
				床	10			10		10	0
			0.6	J	0.53	0.43	0.36	0.42	0.35	0.35	0.29
			0.8	I	0.63	0.52	0.46	0.51	0.46	0.45	0.38
			1.0	H	0.68	0.59	0.52	0.57	0.51	0.50	0.44
Smax(A-A)＝	1.20	H	1.3	G	0.74	0.66	0.59	0.64	0.58	0.57	0.50
Smax(B-B)＝	1.20	H	1.5	F	0.77	0.69	0.64	0.67	0.63	0.61	0.55
			2.0	E	0.84	0.77	0.71	0.75	0.70	0.69	0.63
			2.5	D	0.86	0.81	0.76	0.79	0.75	0.73	0.67
			3.0	C	0.89	0.85	0.80	0.82	0.79	0.77	0.71
			4.0	B	0.92	0.88	0.85	0.86	0.84	0.82	0.77
			5.0	A	0.94	0.91	0.88	0.88	0.85	0.85	0.80

変更無し

5　断熱施工対応ダウンライト（相関色温度5000K）　（追加）

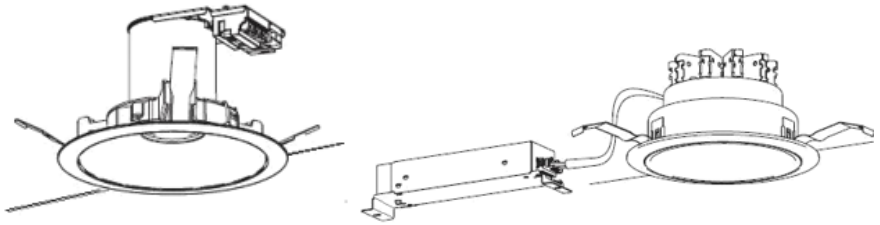
P88

●目的：2022年版で木造施設向に規格した3000K・4000Kに5000Kを追加

●形式：
LRS18　確認外

●仕様：
光源の相関色温度：昼白色（5000K）

図B.35



器　種	光　束 (lm)	消費 電力 (W)	入力 容量 (VA)	固有 エネルギー 消費効率 (lm/W)	1/2 ビーム角 (°)	天井 切込 寸法 (mm)	制御 装置 の種類
LRS18-05	550以上	9 以下	14 以下	95 以上	70 ～ 135	Φ100 ～ Φ150	LN LZ
LRS18-12	1200以上	16 以下	20 以下				

（摘要）1．JIL5002（埋込み形照明器具）の断熱施工対応SB形又はSG1形に適合すること

5　断熱施工対応ダウンライト（光源色5000K）　（追加）

3000K，4000Kとの比較

P88

	器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	1/2ビーム角 (°)	天井切込寸法 (mm)	制御装置の種類
昼白色（5000K）	LRS18-05	550以上	9以下	14以下	95以上	70～135	Φ100～Φ150	LN LZ
	LRS18-12	1200以上	16以下	20以下				

P87

色温度	器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	1/2ビーム角 (°)	天井切込寸法 (mm)	制御装置の種類
電球色（3000K）	LRS17-05-30K	550以上	9以下	14以下	85以上	70～135	Φ100～Φ150	LN LZ
	LRS17-12-30K	1200以上	16以下	20以下				
白色（4000K）	LRS17-05-40K	550以上	9以下	14以下	95以上			
	LRS17-12-40K	1200以上	16以下	20以下				

5　断熱施工対応ダウンライト（光源色5000K）　（追加）

P 26

●器種名に-50Kとつかない理由
　附属書Ａに共通の仕様として「光源色は昼白色とする」と記載しているため。
　下記に合致しない場合は，附属書Bに光源色を記載している。

附属書A
（規定）
器種別仕様

A.2　　一般事項

A.2.1　機種別の仕様は，次による。

a）照明器具の定格光束，定格消費電力及び定格入力容量は，附属書Bに規定する範囲内でなければならない。

b）附属書Bに定格入力電圧が100V又は200Vと記載されているものは，照明器具の定格入力電圧がユニバーサル電圧（100 V～242 V）のものでも適用可とする。

A.2.2　共通の仕様は，次による。ただし，個別に記載のある器種は，附属書Bによる。

a）LED照明器具のLEDモジュールの光束維持時間寿命は，40,000時間以上とする。

b）LED照明器具から発する光の光源色（相関色温度）は，昼白色（4600 K～5500 K）とする。

6 角形高天井器具（非調光追加）

（改正）

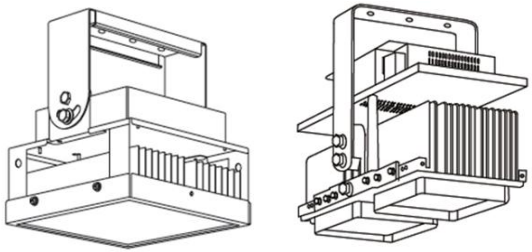
P89

●目的：光源の光束維持率が向上し，初期照度補正機能による省エネ効果が少なくなったため非調光を追加

●形式：
LSR2M，LSR2W，LSR2AM

●仕様：
光源の光束維持率0.85以上
制御装置の種類にLN（非調光）を追加
LJ（初期照度補正）は（摘要）にて適合である旨記載

図B.36（図B.37）



6 角形高天井器具（非調光追加）

（改正）

P26

附属書 A
（規定）
器種別仕様

A.2 一般事項

A.2.1 器種別の仕様は，次による。

a) 照明器具の定格光束，定格消費電力及び定格入力容量は，附属書 **B** に規定する範囲内でなければならない。

b) 附属書 **B** に定格入力電圧が 100V 又は 200V と記載されているものは，照明器具の定格入力電圧がユニバーサル電圧（100 V～242 V）のものでも適用可とする。

A.2.2 共通の仕様は，次による。ただし，個別に記載のある器種は，附属書 **B** による。

a) LED 照明器具の LED モジュールの光束維持時間は，40,000 時間以上とする。

b) LED 照明器具から発する光の光源色（相関色温度）は，昼白色（4600 K～5500 K）とする。

c) ベースライト形照明器具の平均演色評価数（Ra）は，80 以上とする。

d) 高天井用器具の平均演色評価数（Ra）は，70 以上とする。

e) ベースライト形照明器具は，LED 制御装置内蔵形とする。

f) ベースライト形照明器具の光源の設計光束維持率は，0.85 とする。

g) ダウンライト形照明器具の光源の設計光束維持率は，0.8 以上とする。

h) 高天井用器具の光源の設計光束維持率は，0.85 以上とする。

i) 投光器の光源の設計光束維持率は，0.85 以上とする。

j) ベースライト形照明器具（非常用照明器具の常用光源部含む）及びダウンライト形照明器具（LRS2 を除く）の発光面は，乳白色，表面にシボ加工した透明な材料，又はプリズムを用いて，配光特性制御又は輝度抑制するものとし，点光源が離れて並んでいるような非連続な光源イメージにならないものとする。

2022年版で追加済み

6 角形高天井器具（非調光追加）

（改正）

P89

器 種	光 束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	1/2照度角 (°)	制御装置の種類	質量 (kg)
LSR2M－200	20000以上40000未満	124以下	145以下	170以上	19以上27未満	LN LZ	5以下
LSR2W－200					27以上37未満		
LSR2M－400	40000以上	258以下	303以下	165以上	19以上27未満		12以下
LSR2W－400		239以下	281以下		27以上37未満		
LSR2AM－170	17000以上34000未満	124以下	145以下		19以上27未満		5以下
LSR2AM－340	34000以上	238以下	280以下	160以上			12以下

「LJ」廃止し「LN」化

（摘要） 5. 制御装置の種類“LN”は“LJ”のものでも適用可とする

6 角形高天井器具（非調光追加）

（改正）

P89

器 種	光 束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)
LSR2M－200	20000以上 40000未満	124 以下	145 以下	170 以上
LSR2W－200				
LSR2M－400	40000以上	258 以下	303 以下	165 以上
LSR2W－400		239 以下	281 以下	
LSR2AM－170	17000以上 34000未満	124 以下	145 以下	165 以上
LSR2AM－340	34000以上	238 以下	280 以下	160 以上

省電力
効率：約3%向上

2022年版

消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)
170 以下	200 以下	165 以上
130 以下	152 以下	
263 以下	309 以下	
248 以下	291 以下	
127 以下	149 以下	160 以下
244 以下	287 以下	

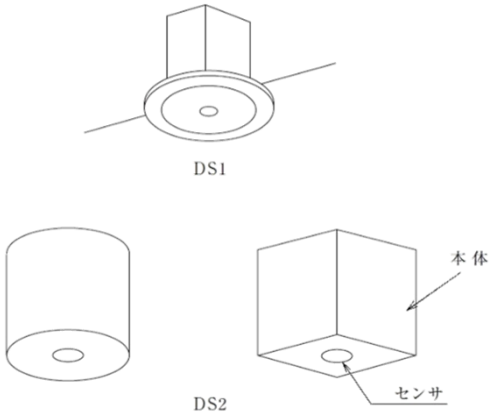
7　センサ（人感センサ仕様追加）　（改正）

P90～91

●目的：人感センサに，消灯設定ができる機能を追加

●形式：AN
NT　確認外

図B.37（図B.38）



器種		センサ 感知方式	センサ 設置高さ2.5 m ~3.0 mにおける感知範囲（m）	照明制御方式・内容
DS 1 DS 2	A	明るさセンサ	φ2.5以上	明るさセンサ制御装置・連続調光形 ・LED照明器具に調光信号を送出し制御する。 ・明るさセンサが感知した照度に応じて，LED照明器具を定格消費電力で点灯する光束から内蔵されるLED制御装置の調光下限光束まで連続して調光制御する。
	AN	明るさセンサ 人感センサ	明るさセンサ：φ2.5以上 人感センサ　：φ4.0以上	明るさセンサ・人感センサ制御装置・連続調光形 ・LED照明器具に調光信号を送出し制御する。 ・明るさセンサが感知した照度に応じて，LED照明器具を定格消費電力で点灯する光束から内蔵されるLED制御装置の調光下限光束まで連続して調光制御する。 ・人感センサが感知後，設定された明るさでLED照明器具を点灯させ，人感センサが感知されなくなってから設定した時間で，定格消費電力で点灯する光束から内蔵されるLED制御装置の調光下限光束まで連続して調光制御する。 ・調光下限光束に減光後，引き続き人感センサが感知されない場合に，設定した時間で消灯制御する。ただし，設定した場合に限る。
	NT	人感センサ	φ4.0以上	人感センサ制御装置・段調光形 ・LED照明器具に調光信号を送出し制御する ・人感センサが感知後，LED照明器具を定格消費電力で点灯する光束で点灯させ，人感センサが感知されなくなってから設定された時間で，定格消費電力で点灯する光束に対して内蔵されたLED制御装置の調光下限光束まで調光制御する。 ・調光下限光束に減光後，引き続き人感センサが感知されない場合に，設定した時間で消灯制御する。ただし，設定した場合に限る。
	N	人感センサ	φ4.0以上	人感センサ制御装置・点滅形 ・LED照明器具を点滅制御する。 ・人感センサが感知後，LED照明器具を定格消費電力で点灯する光束で点灯させ，人感センサが感知されなくなってから設定された時間後に消灯制御する。

追加

調光下限光束に減光後，引き続き人感センサが感知されない場合に，設定した時間で消灯制御する。ただし，設定した場合に限る。

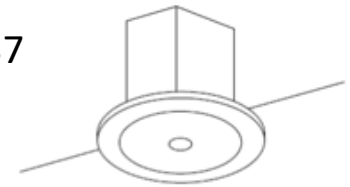
8 センサ（換気扇連動人感センサ）（追加）

P90～91

●目的：小規模な施設のトイレ等で用いる換気扇連動タイプを規格化

●形式：NK　確認外

図B.37



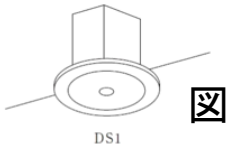
DS1

器種		センサ		照明制御部	
		感知方式	感知範囲※	制御方式・内容	その他仕様
DS1	NK	人感センサ（赤外線）	※設置高さ 2.5～3m時 Φ4.0 以上	人感センサ制御装置・点滅形・換気扇連動形 ・定格電圧は100Vとする ・LED照明器具を点滅制御し，換気扇を動作する ・人感センサが感知後，LED照明器具を定格消費電力で点灯する光束で点灯させ，人感センサが感知されなくなってから設定した時間後に消灯制御する。 ・人感センサが感知後，換気扇を動作させ，LED照明器具が消灯後，設定又は決められた時間で自動停止する。	照明器具用と換気扇用の出力端子を有すること 換気扇用の出力は100Vとする

9　個別照明制御システム（微動検知人感センサ見直し）　（改正）

P90～91

●目的：感知範囲を拡大し，拡大に伴い制御エリア数を増加
●形式：ＮＣ　確認外
●仕様：感知範囲：7.2mX7.2m，制御エリア数：8以上



図B.37（図B.38）

器種		センサ		照明制御部	
		感知方式	感知範囲※	制御方式・内容	その他仕様
DS1	NC	微動検知人感センサ（赤外線，画像認識など） 明るさセンサ（照度）	※設置高さ 2.5～3m時 7.2×7.2m 以上 ↑ 2022年版 3.6×3.6m	人感センサ・明るさセンサ制御装置・個別照明制御システム適合形 ・感知範囲内の明るさと制御エリア毎に微動を検知して調光制御する。 ・個別通信制御連続調光形（LC）に対応するLED照明器具に個別通信信号を送出し制御する。※2 ・明るさセンサが感知した照度に応じて，LED照明器具を定格消費電力で点灯する光束から内蔵されるLED制御装置の調光下限光束まで連続して調光制御する。 ・微動検知人感センサが感知後，設定した明るさでLED照明器具を点灯させ，感知されなくなってから設定された時間で，定格消費電力で点灯する光束から内蔵されるLED制御装置の調光下限光束まで連続して調光制御する。	制御エリア数： 8以上 最小制御範囲： 1.8×3.6m以下 ↑ 2022年版 4以上 1.8×1.8m

（摘要）5.　微動検知人感センサは，感知範囲，制御エリア数及び最小制御範囲の要件を満足するものとし，１台のセンサで要件を満たさない場合は，センサを複数台用いて対応しても良い

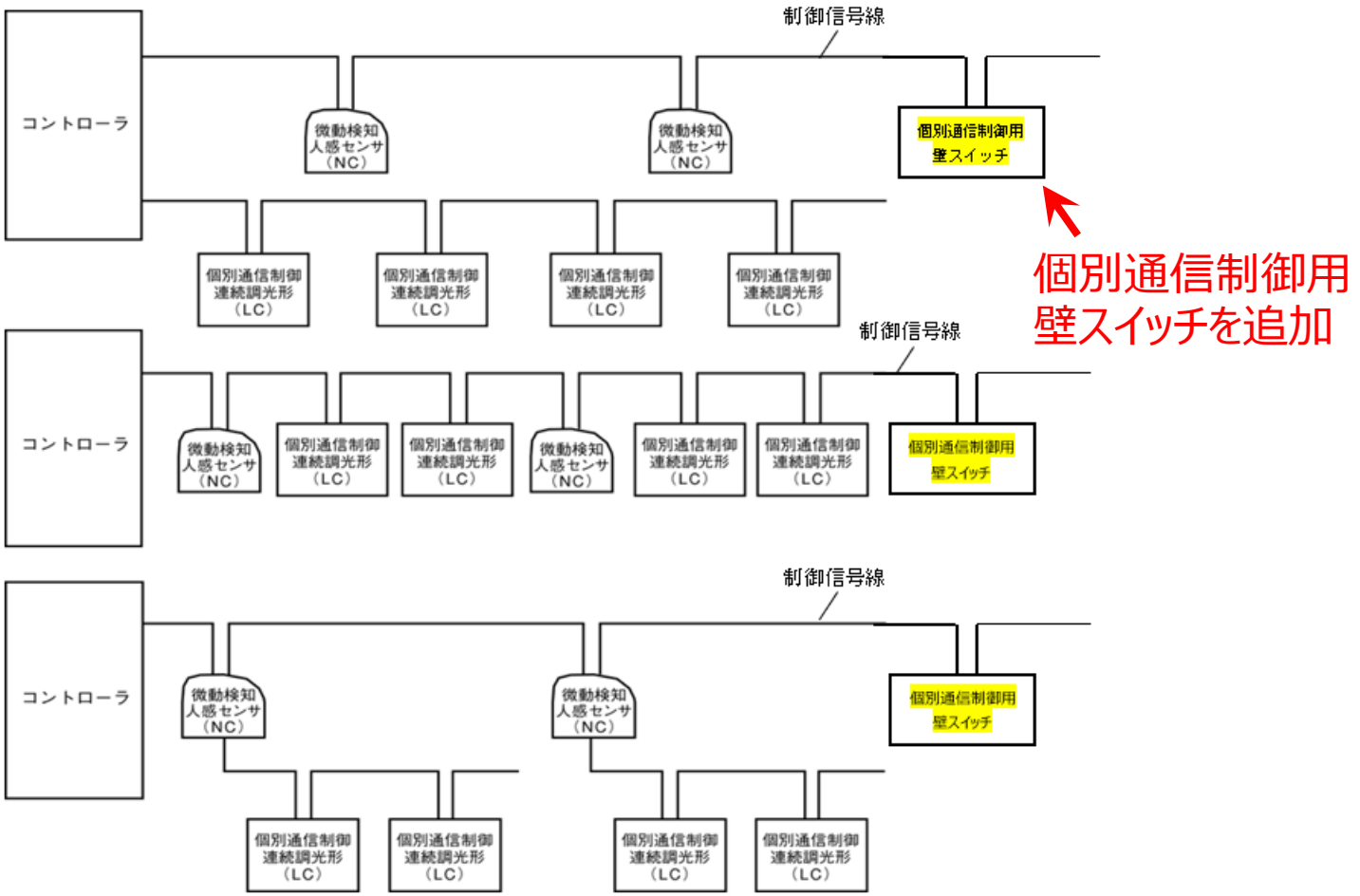
10　個別照明制御システム（仕様の明確化①）　（改正）

●目的：個別照明制御システムの仕様をわかりやすくするため，解説を見直し

P 17～18

解説

a）表5.5の注b)に記載する個別照明制御システムは，センサなどの信号を受け，個別の照明器具の調光などの制御を行う照明制御システムである。概念図の例を図8に示す。



10　個別照明制御システム（仕様の明確化①）　（改正）

P 17～18

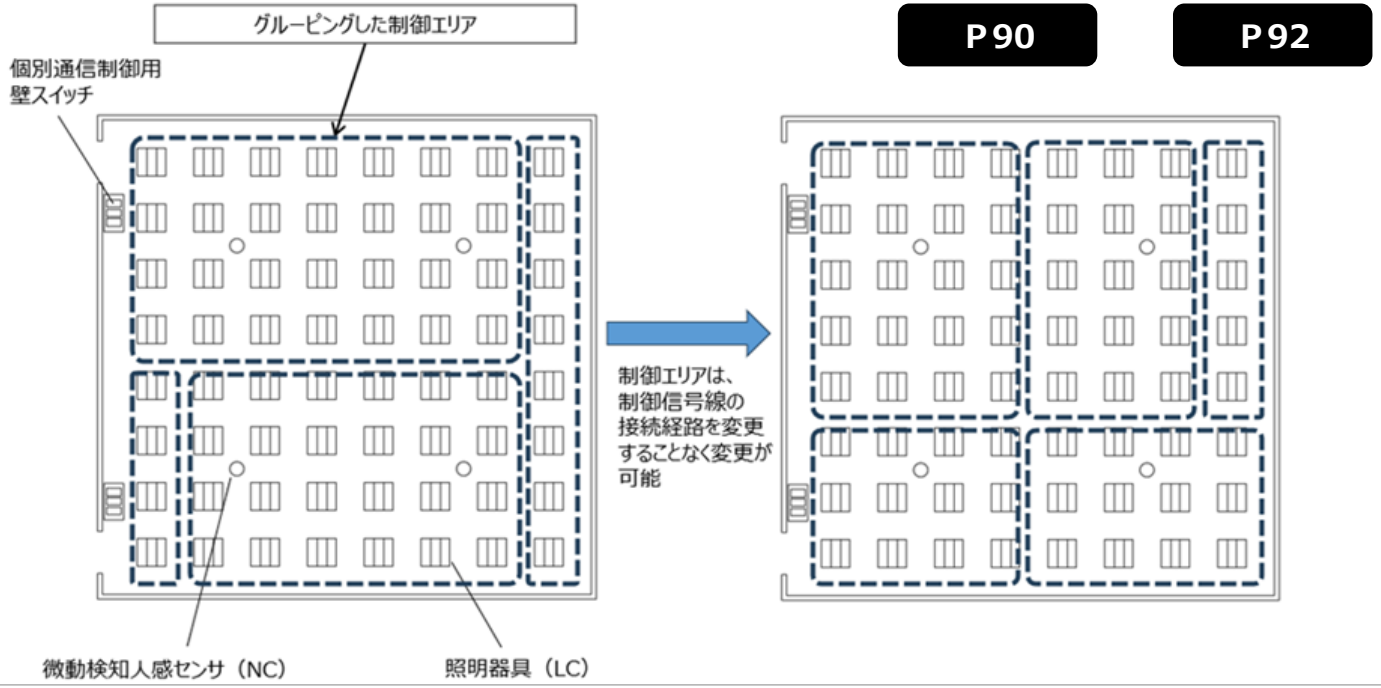
1）同一の制御を行う制御エリアは，設定機器などを用いることで照明器具，微動検知人感センサ及び個別通信制御用壁スイッチを紐付けてグルーピングし，設定する。

2）制御エリアは，制御信号線の接続経路を変更することなく，設定機器などで変更することが可能である。イメージ図を図9に示す。

3）個別通信制御用壁スイッチは，設定により制御エリアごとに調光消灯や設定した明るさでの点灯を行うことが可能である。なお，リレーなどによる電源線の開閉操作を兼用する場合は，電源回路の構成及び製造者の標準仕様を確認する必要がある。

4）適合する微動検知人感センサ（NC）及び照明器具（LC）は，図B.37及び図B.38による。

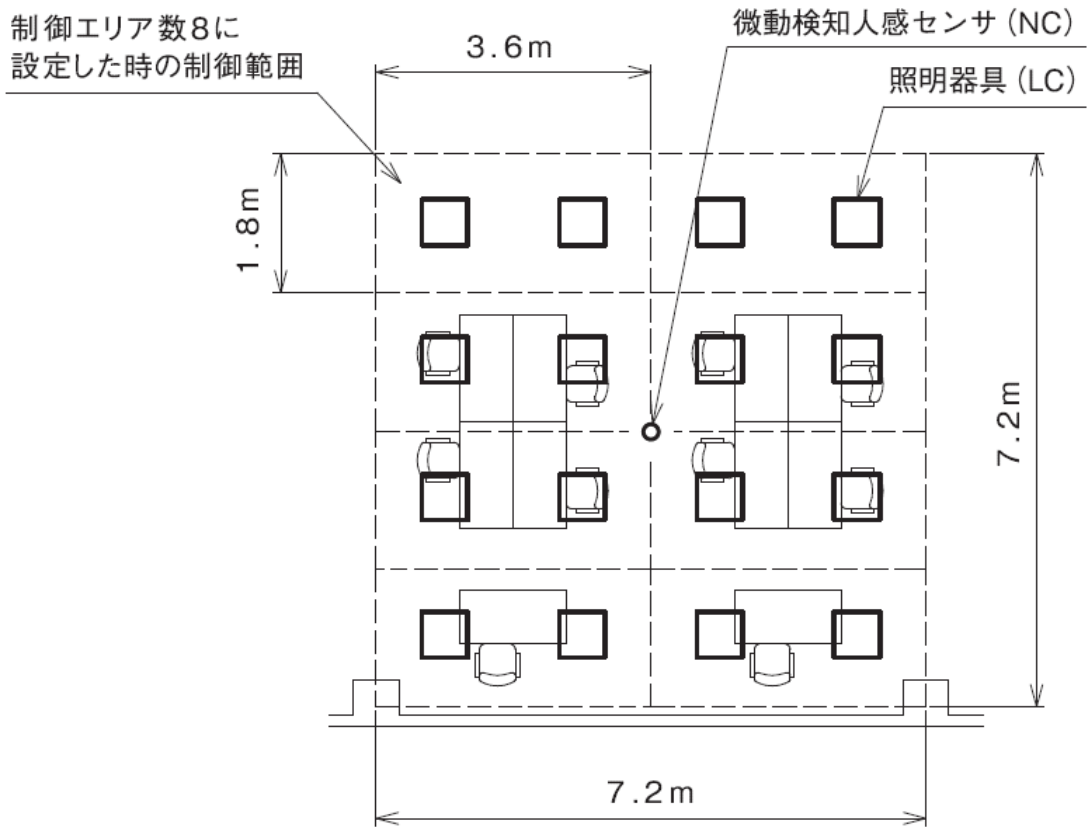
P 90　P 92



10　個別照明制御システム（仕様の明確化①）　（改正）

P 17～18

5）標準的な照明器具の配置パターンを図10に示す。
7.2 m×7.2 mのエリアに照明器具を16台，その中心に微動検知人感センサを設置し，微動検知人感センサは制御エリア数を8，制御範囲を1.8 m×3.6 mに設定し制御した場合の例である。
各エリア内の照明器具数は2台，在籍人数は1～2名となり，人の在・不在をきめ細かく制御でき省エネルギー効果を見込むことができる。



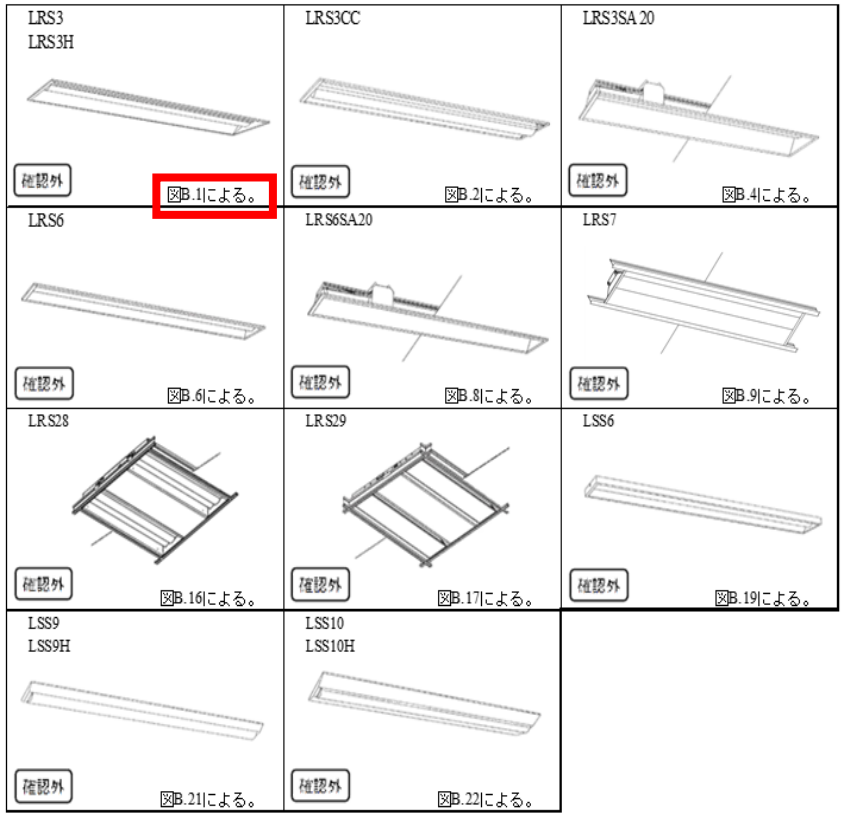
10　個別照明制御システム（仕様の明確化②）　（改正）

●目的：個別通信制御連続調光形（LC）の仕様をわかりやすくするため，記載の見直し

照明器具【図B.38】　P92

確認外

微動検知人感センサ(NC)との組み合わせで使用する器種一覧



照明制御器【図B.37】　P91

器種		センサ 感知方式	センサ 設置高さ2.5m～3.0m時における感知範囲(m)	照明制御部 制御方式・内容	照明制御部 制御台数等
DS1	NC	※2 微動検知人感センサ（赤外線，画像認識等） 明るさセンサ（照度）	3.6×3.6 以上かつ 分割数は4 以上とし，分割により最小感知範囲は1.8×1.8に設定できるもの	人感センサ・明るさセンサ制御装置・個別照明制御システム適合タイプ ・個別通信制御連続調光形（LC）に対応するLED照明器具に個別通信信号を送出し制御する。※1 ・明るさセンサが感知した照度に応じて，LED照明器具を定格消費電力で点灯する光束から内蔵されるLED制御装置の調光下限光束まで連続して調光制御する。 ・微動検知人感センサが感知後，設定した明るさでLED照明器具を点灯させ，感知されなくなってから設定した時間で，定格消費電力で点灯する光束から内蔵されるLED制御装置の調光下限光束まで連続して調光制御する。	

（摘 要）1．DS1は，天井埋込み形とし，DS2は，天井じか付け形とする。ただし，防雨形，防湿形器具との組み合わせは除く。
2．人感センサは，感知されなくなってから減光又は消灯するまでの保持時間を，1分から10分の範囲内で設定できるものとする。
3．※1　個別通信制御連続調光形（LC）に対応する器種一覧は，図B.39による。
4．※2　デスクワークによる人の微動を感知する。

LED制御装置【表5.5】　P16

LED制御装置の種類	仕様	記号 ❹
初期照度補正形	定格光束に保守率を乗じた光束以上で点灯を開始し，初期照度補正期間又はLEDモジュール光束維持時間まで連続的に出力を上げ，ほぼ一定の光束を保つようにするもの	LJ
一般形	定格消費電力で点灯するもの	LN
連続調光形[a)]	調光信号により出力を制御し，定格消費電力で点灯する光束と調光下限値間を連続的に制御するもの。調光下限値は定格消費電力で点灯する光束を100 %とした場合に5 %以下とする。	LZ
	調光信号により出力を制御し，定格消費電力で点灯する光束と調光下限値間を連続的に制御するもの。調光下限値は定格消費電力で点灯する光束を100 %とした場合に25 %以下とする。	LX
個別通信制御[b)]連続調光形	通信により個別の照明器具の出力を制御し，定格消費電力で点灯する光束と調光下限値間を連続的に制御するもの。調光下限値は定格消費電力で点灯する光束を100 %とした場合に25 %以下とする。	LC

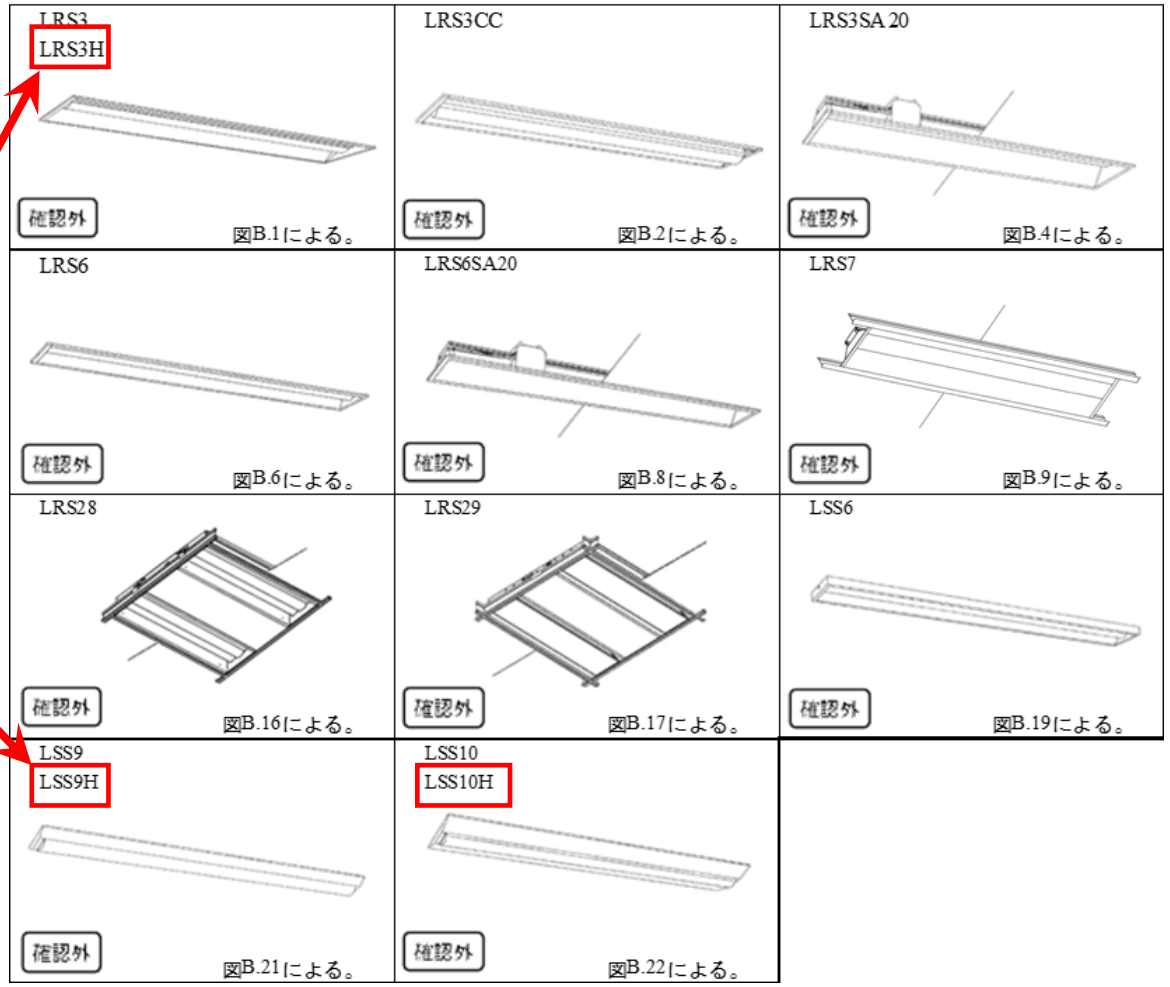
注[a)]　連続調光形制御装置を使用するものは，照明制御器（DS1及びDS2）で動作可能なこと。ただし，点滅形（N）は除く。
注[b)]　個別通信制御連続調光形（LC）を使用するものは，人感センサ・明るさセンサ制御装置・個別照明制御システム適合形（NC）と適合する個別照明制御システムで動作可能なものとする。

10　個別照明制御システム（仕様の明確化②）　（改正）

P92

照明器具

図B.38（図B39）



新器種追加
（高効率形）

（摘　要）1. LED制御装置の種類はLCとし，表5.5による。
2. 微動検知人感センサ（NC）に適合する個別照明制御システムで動作可能なものとする。
3. 個別照明制御システムの解説を，17ページに示す。

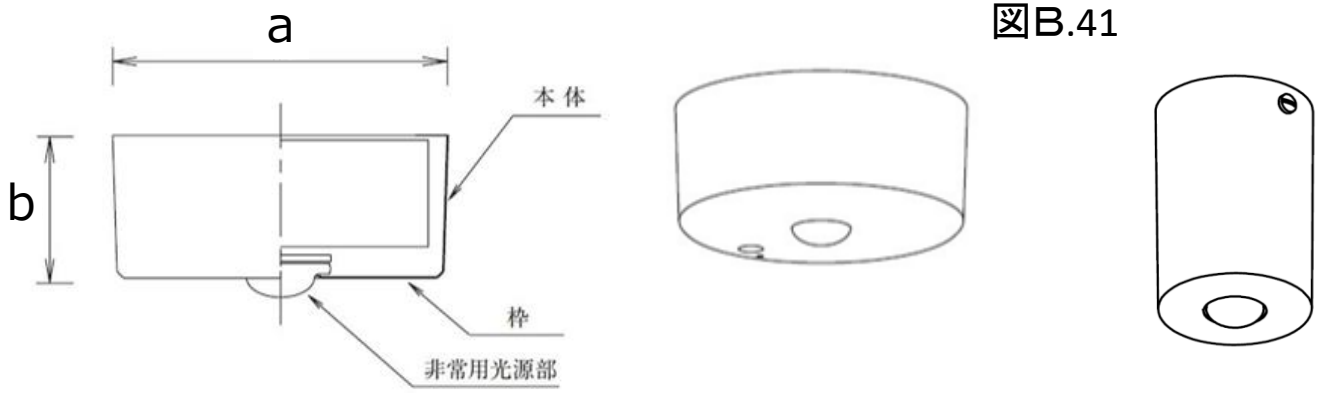
11　電源別置形じか付け非常用照明器具　（追加）

P95

●目的：木造施設等の埋込み形が使用できない場所に使用できる非常用照明器具を規格化

●形式：K0-LSS11　確認外

図B.41



器種	材質		寸法 (mm)	
	本体及び枠	非常用光源部	a	b
K0-LSS11	SPC ADC A1P	ガラス	165 以下	120 以下

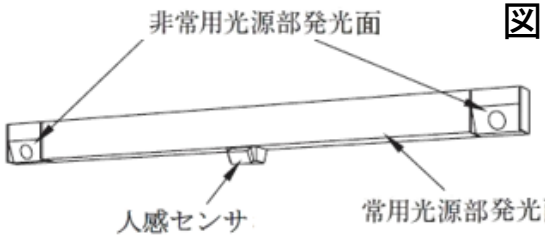
（摘要）1. JIL 5501（非常用照明器具技術基準）の専用形非常用照明器具とする。
2. 定格入力電圧は,AC100／DC100V兼用とする.

12　階段灯（光束･電気特性･寸法の規格化）　（改正）

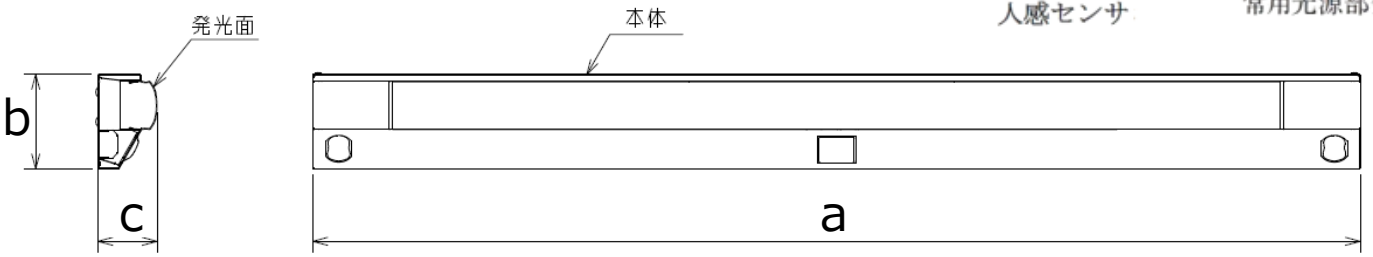
P98

●目的：照明設計に必要な消費電力･入力容量･寸法を規格化

●形式：K1－LBF11　他　確認外



図B.44（図B.44）



（摘要）から移動

器　種	常用点灯時光束(lm)	消費電力(W)	入力容量(VA)	定格入力電圧(V)	寸法 a	寸法 b	寸法 c	材質 本　体	材質 常用光源部発光面	材質 非常用光源部発光面	制御装置の種類
K1 – LBF11	2400lm以上	30以下	35以下	AC 100～242	1200～1450	120～170	130以下	SPC ADC A1P	ガラス PC PMMA	ガラス	LN
SK1 - LBF11											
LDS1 - K1 - LBF11		31以下	36以下								
LDS2 - SK1 - LBF11											

（摘要）7．LDS1，LDS2については，センサの局部的な突出部をb寸法及びc寸法に含まない。

13　投光器（非調光追加）　（改正）

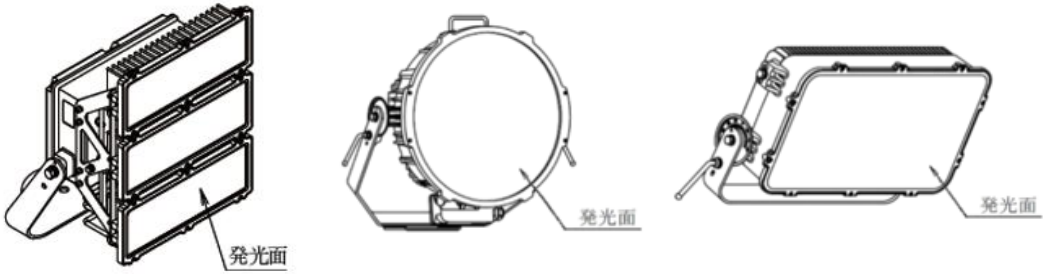
P114

●目的：光源の光束維持率が向上し，初期照度補正機能による省エネ効果が少なくなったため非調光を追加

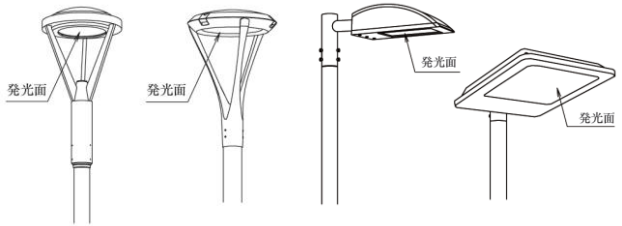
●形式：
LPJ1N，LPJ1M，LPJ1W　確認外

●仕様：
光源の光束維持率0.85以上
制御装置の種類にLN（非調光）を追加
LJ（初期照度補正）は（摘要）にて適合である旨記載

図B.60（図B.60）



●その他
屋外用器具（街路灯・駐車場灯）の初期照度補正は，光源の光束維持率が0.85を満足しないため継続とする。



13　投光器（非調光追加）　（改正）

P114

器　種	光　束 (lm)	消費 電力 (W)	入力 容量 (VA)	固有 エネルギー 消費効率 (lm/W)	制御 装置 の種類
LPJ1N – 180	18000 以上	174 以下	204 以下	135 以上	LN LZ
LPJ1M – 180					
LPJ1W – 180		176 以下	207 以下		
LPJ1N – 500	50000 以上	504 以下	592 以下	110 以上	
LPJ1M – 500				120 以上	
LPJ1W – 500				125 以上	

「LJ」廃止し「LN」化

（摘要） 7. 制御装置の種類“LN”は“LJ”のものでも適用可とする

13　投光器（非調光追加）　（改正）

P114

器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	制御装置の種類
LPJ1N－180	18000以上	174以下	204以下	135以上	LNLZ
LPJ1M－180					
LPJ1W－180		176以下	207以下		
LPJ1N－500	50000以上	504以下	592以下	110以上	
LPJ1M－500				120以上	
LPJ1W－500				125以上	

省電力効率：約5～29%向上

2022年版

消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)
186以下	218以下	105以上
509以下	598以下	

13 投光器（非調光追加）

（改正）

P26

附属書 A
（規定）
器種別仕様

A.2 一般事項

A.2.1 器種別の仕様は，次による。

a) 照明器具の定格光束，定格消費電力及び定格入力容量は，附属書 B に規定する範囲内でなければならない。

b) 附属書 B に定格入力電圧が 100V 又は 200V と記載されているものは，照明器具の定格入力電圧がユニバーサル電圧（100 V～242 V）のものでも適用可とする。

A.2.2 共通の仕様は，次による。ただし，個別に記載のある器種は，附属書 B による。

a) LED 照明器具の LED モジュールの光束維持時間は，40,000 時間以上とする。

b) LED 照明器具から発する光の光源色（相関色温度）は，昼白色（4600 K～5500 K）とする。

c) ベースライト形照明器具の平均演色評価数（Ra）は，80 以上とする。

d) 高天井用器具の平均演色評価数（Ra）は，70 以上とする。

e) ベースライト形照明器具は，LED 制御装置内蔵形とする。

f) ベースライト形照明器具の光源の設計光束維持率は，0.85 とする。

g) ダウンライト形照明器具の光源の設計光束維持率は，0.8 以上とする。

h) 高天井用器具の光源の設計光束維持率は，0.85 以上とする。

i) 投光器の光源の設計光束維持率は，0.85 以上とする。

j) ベースライト形照明器具（非常用照明器具の常用光源部含む）及びダウンライト形照明器具（LRS2 を除く）の発光面は，乳白色，表面にシボ加工した透明な材料，又はプリズムを用いて，配光特性制御又は輝度抑制するものとし，点光源が離れて並んでいるような非連続な光源イメージにならないものとする。

投光器の光源の設計光束維持率は，0.85以上とする

追加

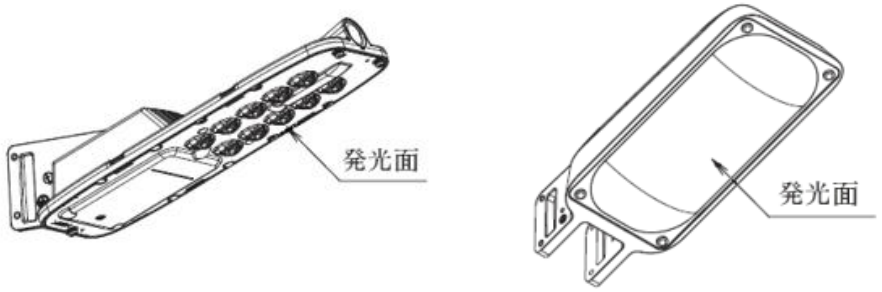
14　防犯灯（自動点滅機能付追加）　（追加）

●目的：明るさを検知し自動点滅することで省エネが実現可能な防犯灯を規格化　P115

●形式：
LBF2RPS　確認外

●仕様：
自動点滅機能付

図B.61（図B.61）



器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	制御装置の種類
LBF2RP - 10	1000以上	11 以下	12 以下	115 以上	LN
LBF2RPS - 10					

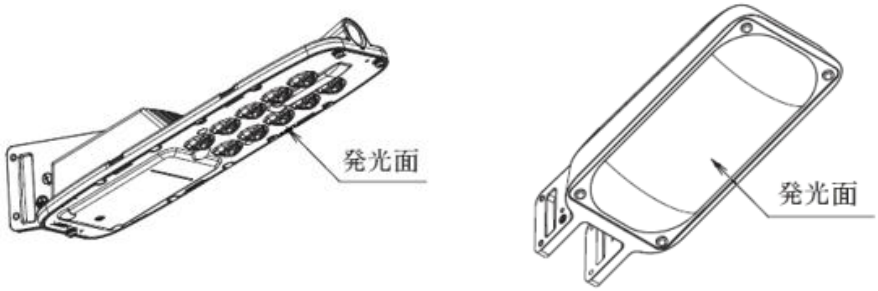
（摘要）4. 自動点滅機能を有し，日中の点灯を防止する。
5. 自動点滅機能は，日本照明工業会ガイドA137-3（高品質LED防犯灯の性能要求指針）の3.3.7（自動点滅性能）のa)による。

ガイドA137-3　3.3.7　自動点滅性能
a)自動点滅機能を備える照明器具は，5 lx～100 lx にて点灯し，点灯照度の5 倍以下にて消灯しなければならない。

14　防犯灯（自動点滅機能付追加）　（追加）

P115

図B.61（図B.61）



省電力・効率：約28%向上

2022年版

器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	制御装置の種類	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)
LBF2RP - 10	1000以上	11以下	12以下	115以上	LN	17以下	20以下	90以上
LBF2RPS - 10								

・光源の相関色温度は昼白色（5000K）とする

14　防犯灯（自動点滅機能付追加）　（追加）

P24

屋外灯・屋外用非常灯の形式の表示例を追加

形式

表示例 1.9－LED 屋外灯・屋外用非常灯

記号例	L	BF	2	RP	□□	－	10	S
内　容　項　目	光源の種類	器具の種類	器具の形	付加機能－1	付加機能－2		光束	有効点灯時間
表6のNo.	❶	❷	注a)	❸	注b)		注c)	注d)

注a)　器具の形は，器種別仕様の番号（1～n）による。
注b)　付加機能-2は，次による。
　　S：自動点滅機能付，LBF4RPは表示なし
注c)　光束は，10：1000 lm，LBF4RPは表示なし
注d)　有効点灯時間は，次による
　　S：3時間以上12時間未満，L：12時間以上

15　屋外用非常灯（相関色温度の明確化）　（改正）

P116

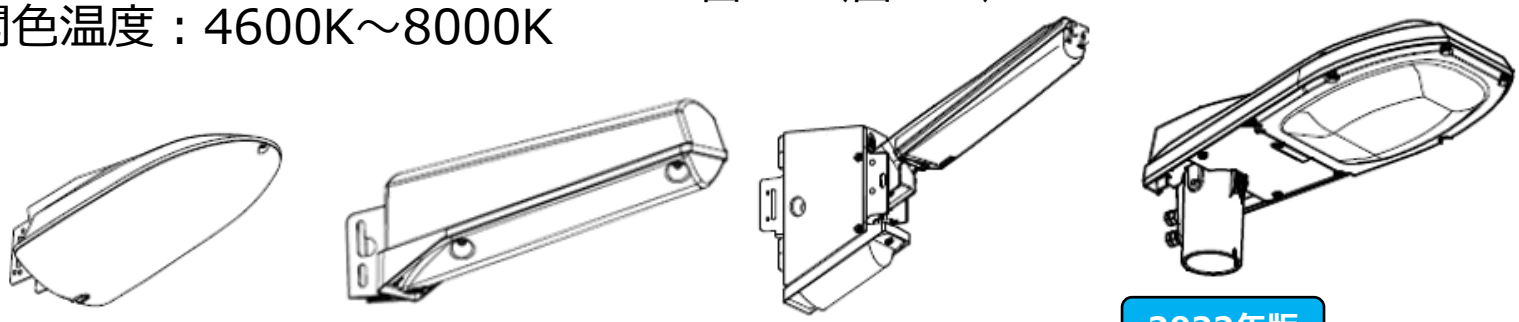
●目的：光源色の相関色温度の明確化

●形式：
LBF4RP　確認外

●仕様：
相関色温度：4600K～8000K

（一社）日本照明工業会
評定 JIL 5510
屋外用非常灯

図B.62（図B.62）



2022年版

器　種	有効点灯時間(h)	光　束(lm)	消費電力(W)	入力容量(VA)
LBF4RP－S	3以上12未満	800以上	13以下	15以下
LBF4RP－L	12以上		55以下	80以下

省電力

消費電力(W)	入力容量(VA)
60以下	80以下

（摘要）1．JIL 5510（屋外用非常灯及びソーラーライト技術基準）による屋外用非常灯（電池内蔵形）とする

9．光源色は，相関色温度4600 K～8000 Kとする

16 ソーラーライト（高光束化）　（改正）

P118

●目的：2022年版の300lmタイプでは暗いため高光束タイプへ変更

●形式：LSA1　確認外

（一社）日本照明工業会
評定 JIL 5510
ソーラーライト

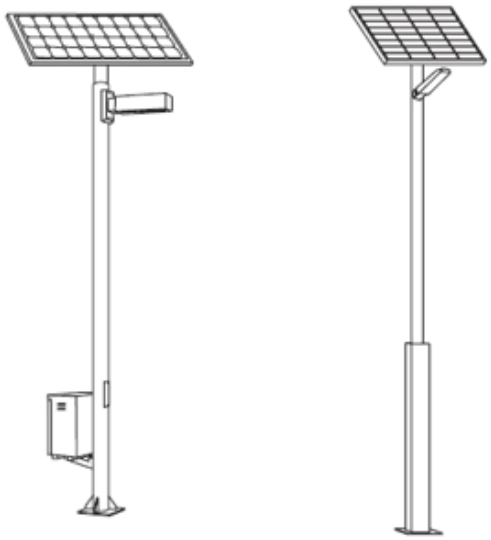
●仕様：
光束変更と器種追加
光束変更による器種名変更

2022年版の300lmより明るいタイプ

目安として400m²（20m×20m）で
平均照度2lx取れるタイプ

器　種	光　束 (lm)	制御装置の種類
LSA1 – 06	600以上	LN
LSA1 – 13	1300以上	

図B.64（図B.64）



（摘要）1．JIL 5510（屋外用非常灯及びソーラーライト技術基準）によるソーラーライトとする
4．点灯開始から一定時間経過後に減光制御してもよい。
（全光での点灯は4時間以上とし，減光後の光束は350 lm以上。）

17　LED制御装置（調光下限値の見直し）　（改正）

P16

表5.5－LED制御装置

LED制御装置の種類	仕様	記号 ❹
初期照度補正形	定格光束に保守率を乗じた光束以上で点灯を開始し，初期照度補正期間又はLEDモジュール光束維持時間まで連続的に出力を上げ，ほぼ一定の光束を保つようにするもの	LJ
一般形	定格消費電力で点灯するもの	LN
連続調光形[a)]	調光信号により出力を制御し，定格消費電力で点灯する光束と調光下限値間を連続的に制御するもの。調光下限値は定格消費電力で点灯する光束を100 %とした場合に5 %以下とする。	LZ
	調光信号により出力を制御し，定格消費電力で点灯する光束と調光下限値間を連続的に制御するもの。調光下限値は定格消費電力で点灯する光束を100 %とした場合に25 %以下とする。	LX
個別通信制御[b)]連続調光形	通信により個別の照明器具の出力を制御し，定格消費電力で点灯する光束と調光下限値間を連続的に制御するもの。調光下限値は定格消費電力で点灯する光束を100 %とした場合に25 %以下とする。	LC

35％　2022年版

注[a)]　連続調光形制御装置を使用するものは，照明制御器（DS1及びDS2）で動作可能なこと。ただし，点滅形（N）は除く。

注[b)]　個別通信制御連続調光形（LC）を使用するものは，人感センサ・明るさセンサ制御装置・個別照明制御システム適合形（NC）と適合する個別照明制御システムで動作可能なものとする。

目　次

１．2025年版の改正概要

２．改正内容（器種別）

・追加器種について

・主な改正器種について

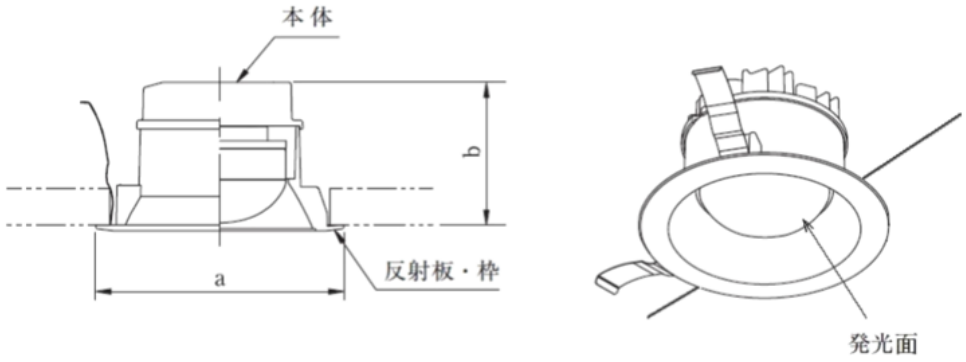
・廃止器種について

18　廊下用ダウンライトの廃止　（廃止）

●採用実績が少ないのと，他のLEDダウンライトの配光性能向上により代替え可能なため廃止

LRS11R
確認外

（図B.30）



器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	定格入力電圧 (V)	1／2ビーム角 (°)	平均演色評価数 Ra	寸　法 (mm)		材　質		天井切込寸法 (mm)	制御装置の種類
								a	b	本体	反射板枠		
LRS11R - 17	1700 以上	15 以下	17 以下	115 以上	AC 100 ～ 242	100 以上	80 以上	φ160 ～ φ185	160 以下	SPC ADC A1P A2S A1FD	SPC ADC A1P P	φ150	LN LZ

（摘　要）

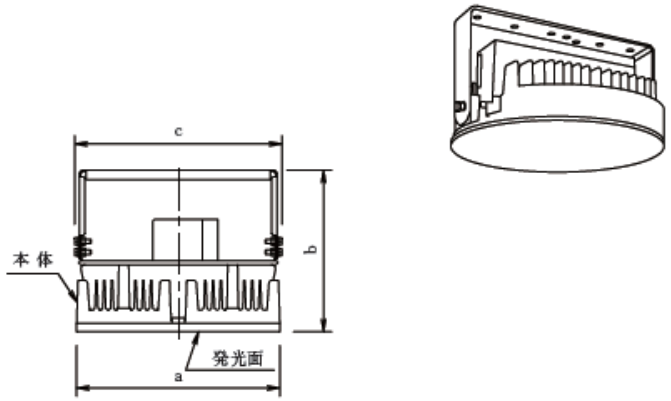
1. 廊下を主用途とした光のひろがりと明るさ感の得られる配光特性をもち，最大取付間隔 S / Hは，1.2 以上であること。
2. 配光は軸対称であること。
3. 器具下面から発光面が突出しないこと。

19　丸形高天井器具の廃止　（廃止）

●角形タイプの性能向上，軽量化が進み丸形タイプの採用実績が少ないため廃止

（図B.36）

LSR1M
LSR1W
LSR1AM



器　種	光　束 (lm)	消費電力 (W)	入力容量 (VA)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	定格入力電圧 (V)	1/2照度角 (°)	寸法 (mm) a	寸法 (mm) b	寸法 (mm) ※1 c	材質 本体	材質 発光面	制御装置の種類	質量
LSR1M-200	20000以上 40000未満	193以下	227以下	130以上	AC 200	19以上 27未満	φ410以下	380以下	430以下	SPC ADC A1P A2S	PC PMMA	LJ LZ	12以下
LSR1W-200		200以下	235以下			27以上 37未満							
LSR1M-400	40000以上	330以下	388以下			19以上 27未満	φ700以下	450以下	730以下				
LSR1W-400		335以下	394以下			27以上 37未満							
LSR1AM-170	17000以上 34000未満	193以下	227以下			19以上 27未満	φ410以下	380以下	430以下				
LSR1AM-340	34000以上	310以下	364以下				φ700以下	450以下	730以下				

（摘要）1．器具の取付けはボルト2点以上で取付ける構造とする。
2．落下防止ワイヤが取付け可能であること。
3．Aを付したものは，輝度値抑制形とし，平均輝度値を350,000 (cd/㎡) 以下とする。
平均輝度値 (cd/㎡) ＝直下光度 (cd) ÷発光部面積 (㎡)
4．※1　c寸法は最大幅寸法とする。

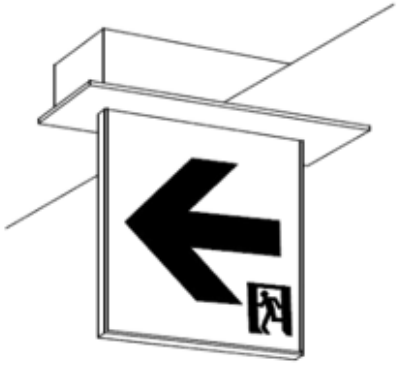
20　天井埋込み誘導灯の一部廃止　（廃止）

●対応メーカーが無い誘導灯の廃止

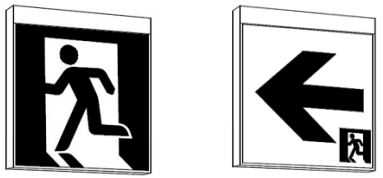
天井埋込み誘導灯のＡ級　及び　B級点滅式誘導音付加形（60分間定格タイプ）

（図B.48）
避難口誘導灯

（図B.52）
通路誘導灯



器種		
	SH1-FRF20P-A	ST1-FRF22P-A
	SH1-FRF21P-A	ST1-FRF23P-A
	SH1-FRF20P-A60	ST1-FRF22P-A60
	SH1-FRF21P-A60	ST1-FRF23P-A60
	SH1-FRF20PAF-BL60	
	SH1-FRF20PAF-BH60	
	SH1-FRF21PAF-BL60	
	SH1-FRF21PAF-BH60	



天井じか付け形で代用可能

21　受渡試験個数の削除　（廃止）

●受渡試験の項目は，該当する個別規格類によって定められいるため廃止

削除

8　性能及び試験

性能及び試験は，次による。

a)　性能及び試験は，器種ごとに該当する電気用品の技術上の基準，JIS 及び JIL の規定による。

b)　照明器具の受渡試験は，使用者からの要求があった場合は，原則として**表 3** 及び**表 4** にもとづいて行う。

なお，試験個数は，各器種より任意に抜取るものとし，試験の結果，不良と判定されたものがある場合は，その試験個数の倍数の抜取り試験を行い，さらに不良と判定されたものがある場合は，全数試験を行う。

表 4－試験項目及び標準試験個数

単位　個

試験項目＼器種別器具数量	10以下	11～50	51～200	201～500	500を超える場合
構造試験 点灯試験 絶縁抵抗試験 耐電圧試験	2	4	7	10	13
防水試験 動作試験	1	2	2	2	2

JLMA
一般社団法人 日本照明工業会
Japan Lighting Manufacturers Association